Vol.33　ギターでベースラインを弾いてみる

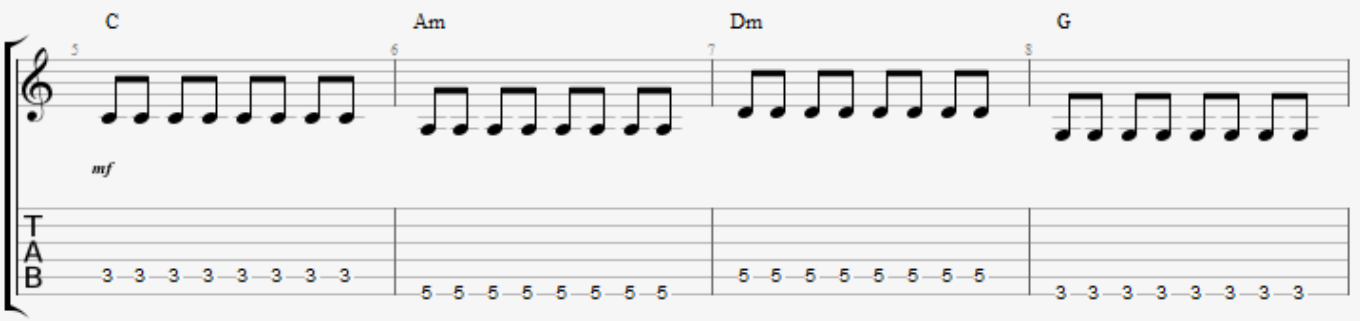
『10 分トレ』vol.33、始めていきましょう。

今回は、タイトルにもある様に、『ベースライン』について学んでいきましょう。

ギタリストとは言え、耳コピや楽曲分析をする際は、必ずベースラインを聴き取る事になりますので、ある程度パターンに慣れておくと便利です。

では、譜例は以下になりますが、いつもの様にキーは C、コード進行は 1-6-2-5 で見ていきます。

譜例 1

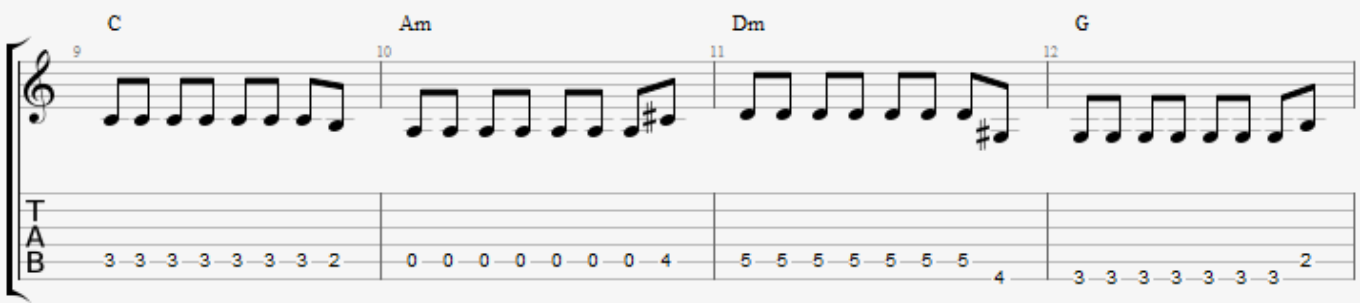


これは見ての通り、各コードのルートを 8 分音符で刻んでいるだけですね。

実際の楽曲では、ドラムを中心とした他パートとの兼ね合いで、ベースラインも変わって来るのですが、今はギターのみなので最もシンプルなパターンにしてあります。

次に、上記の譜例に、進む先のコードへのアプローチノートを入れたものを見てみましょう。

譜例 2

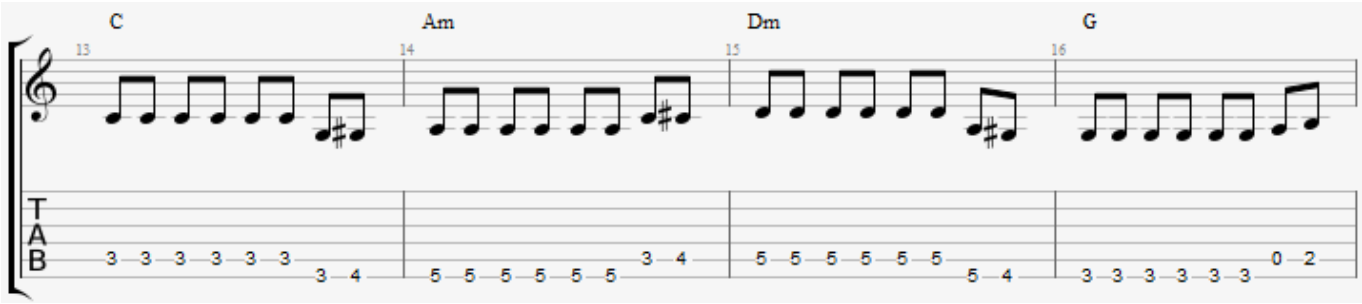


こちらは次のコードに対して、半音もしくは全音で接する音を挟んでいます。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

同じ様な考えで作った譜例を、もう一つ見てみましょうか。

譜例 3



こちらは、主に全音下からクロマチック的に動いているパターンですね。

C コードに対してだけ、素直にクロマチックの動きをしていないのは、B ♭音を鳴らすと、少し C キーの調性から離れるような感じが強くなる為です。

とは言え、こうするのが正解、と言うわけではありませんので、その辺りは臨機応変に対応していきます。

と、言う事で今回の練習の提案ですが、『任意のコード進行を選び、それに対してベースラインを作ってみる』となります。

これは実際には、自分でラインを創作してみても良いのですが、好きな曲のベースのコピーでも構いません。

ベースがちゃんと聴き取れるか？、定番のパターンを知っているか？、と言うスキルは意外と重要ですので、この機会に学んでおきましょう。

それでは、次回に続きます。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved